

新型インフル対策急げ

党東京・町田総支部

市長に 接種助成など申し入れ



市長に新型インフルエンザ対策の緊急申し入れを行う党町田総支部

新型インフルエンザに早期対応を——。東京都町田市の公明党町田総支部（小磯善彦総支部長＝都議）は11月26日、市役所内で石阪丈一市長に対し、新型インフルエンザ対策に関する緊急申し入れを行った。

席上、小磯総支部長と川畑一隆、宮坂けい子、浅見美子、上野孝典、奥栄一、山下哲也の各支部長（いずれも町田市議）は、医療機関で新型インフルエンザワクチン接種の予約が取りにくい現状

などを指摘。その上で、対応策として、①新型インフルエンザワクチンの優先接種対象者への独自の助成制度創設②小・中学校における集団接種③市民病院で重症患者に対応できる万全な措置④不安を抱く市民への正しい知識や情報の提供——など6項目を要望。「本格的な冬を迎える前に、市として速やかに対応してほしい」と求めた。

石阪市長は「しっかり検討させていただく」と答えた。